

J Aバンク静岡における地域密着型金融の取組状況（平成 23 年度）

J Aバンク静岡（静岡県下 J Aと静岡県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 23～25 年度 J Aバンク静岡中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 23 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク静岡は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク静岡は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 24 年 3 月末時点の J Aバンク静岡の農業関係資金残高^{（注1）}は 44,101 百万円（うち農業経営向け貸付金 40,371 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は 11,696 百万円を取扱っています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク静岡が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	24 年 3 月末現在
農業	40,371
穀作	1,340
野菜・園芸	7,681
果樹・樹園農業	2,392
工芸作物	8,524
養豚・肉牛・酪農	2,509
養鶏・鶏卵	509
養蚕	0
その他農業	17,413
農業関連団体等	3,730
合計	44,101

（注）

1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	24年3月末現在
プ ロ パ ー 資 金	28,026
農 業 制 度 資 金	16,074
農 業 近 代 化 資 金	5,280
そ の 他 制 度 資 金	10,794
合 計	44,101

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク静岡が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	24年3月末現在
日 本 政 策 金 融 公 庫 資 金	11,696
そ の 他	0
合 計	11,696

(注)

JAバンク静岡では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク静岡では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内19JAの本支店には46人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

(3) 6次産業化に向けた農商工連携の推進

JAバンク静岡では、中央会、経済連などと連携し、生産者・JAと加工流通業者との商談会の開催など、農業6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
日本公庫静岡県農業・食品産業交流会	平成23年12月8日	日本公庫	70団体	93名	新規アプローチ先農業法人等20先並びに本会取引先企業11先を紹介しビジネスマッチングを行いました。
食のアジア販路開拓セミナー	平成24年1月17日～18日	農林中金	43団体	68名	1/18の個別相談会に農業法人3社を紹介し、ビジネスマッチングを行いました。
総合食品展(ふじのくに)	平成24年2月2日	静岡県	218団体	1,200名	
食と農の結い会	平成24年2月15日	県東部農林	55団体	800名	

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク静岡は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク静岡では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件、百万円

	平成23年度 実行件数	平成23年度 実行金額	平成24年3月末 残高
就農支援資金実績	22	237	1,197
JAニューファーマー支援資金	2	9	22
合計	24	246	1,219

(2) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク静岡では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成23年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち			事業計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A	
		再生計画を策定した先数 a	期末に債務者区分がランクアップした先数 b	期末に債務者区分が変化しなかった先数 c			
正常先①	20	12		20	60.0%		
要注意先	うちその他要注意先②	15	3	0	11	20.0%	0.0%
	うち要管理先③	0	0	0	0	-	-
破綻懸念先④	7	0	0	7	0.0%	0.0%	
実質破綻先⑤	6	0	1	5	0.0%	16.7%	
破綻先⑥	0	0	0	0	-	-	
	小計(②～⑥の計)	28	3	1	23	10.7%	3.6%
	合計	48	15	1	43	31.3%	2.1%

注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成23年3月末時点でのものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク静岡では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク静岡では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 23 年度負債整理資金の貸出実績】

単位 件、百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成 24 年 3 月末 残高
農業負担軽減支援資金	0	0	46
畜産特別資金	0	0	9
その他	0	0	0
合計	0	0	55

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク静岡では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

J Aバンク静岡では、東日本大震災による被害への支援のため対策資金を創設した他、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件、百万円

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行 金額
静岡県信連担い手農業者金融支援対策の実施	静岡県信連	原油・肥料・飼料価格等の高騰への対応として、県下 J A の農業資金借入者に対する利子助成を実施。	利子助成件数 224	利子助成金額 6
平成 22 年産米緊急特別対策の実施	静岡県信連	米生産農家を支援するため、農林中央金庫の利子助成事業に協調し、県下 J A の農業資金借入者に対する利子助成を実施。	利子助成件数 12	利子助成金額 0
静岡県東日本大震災緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	東日本大震災に起因した福島第一原発事故による直接被害、風評被害にかかる金融支援として、県下 J A の災害資金借入者に対する利子補給を実施。	利子助成件数 8	利子助成金額 0

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
静岡県東日本大震災緊急特別対策保証料助成の実施	静岡県信連	東日本大震災に起因した福島第一原発事故による直接被害、風評被害にかかる金融支援として、県下J Aの災害資金借入者に対する保証料全額助成を実施。	保証料助成件数 13	保証料助成金額 1
平成23年台風15号緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	平成23年台風15号の被害に遭われた農業者を支援するため、県下J Aの災害資金借入者に対する利子補給を実施。	利子補給件数 135(見込)	利子補給金額 4(見込)
農業災害対策支援資金の創設	J A伊豆太陽	平成23年3月11日の大震災の影響を受け農業災害対策支援資金を創設。直接被害・間接被害に対応。大震災関連のみならず、災害や社会的・経済的な急激な環境変化等による売上減少などにも対応出来るように創設。平成23年度については、大震災関連と台風関連の被害等に対し低利で対応しました。	11	24
J A三島函南 台風15号緊急支援資金の対応	J A三島函南	J A三島函南では、台風で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、信連の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。	2	3.3
東日本大震災緊急支援資金の対応	J A三島函南	主に原発事故による農畜産物の風評被害にあわれた組合員を対象とし、2件受付したが、東電に賠償金を請求したため実行はなしとたった。	—	—
福島第一原発事故による農業被害に対する支援資金の対応	J A伊豆の国	J A伊豆の国では福島第一原発事故による農業被害に対し、J Aグループの利子助成による無利息資金を創設しました。(取扱い実績なし)	—	—
東日本大震災の放射能による農作物に対する支援資金	J Aあいら伊豆	JA あいら伊豆では東日本大震災の放射能による影響のため出荷停止農家に対する運転資金対応	1	2
「台風15号による罹災農家」に対し、ローン金利の引き下げ	J A御殿場	台風15号で罹災した農家に対し、農業者・農機ハウスローンについて店頭金利より1.5%引き下げをしました。	0	0
「東日本大震災対策支援資金」の制定	J A御殿場	震災に起因した被害農家への支援資金。貸付利率1.0%、農中・信連の利子補給により実質無利子となります。	0	0

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
平成 23 年 4 月・東日本大震災にかかる災害特別融資の対応	J A しみず	平成 23 年 3 月 11 に発生した東日本大震災の影響により、全国的な消費低迷及び販売価格の暴落等から経済的に被害を受けた組合員に対し、利子補給による資金対応をしました。	1	1
平成 23 年 9 月・台風 15 号にかかる災害特別融資の対応	J A しみず	平成 23 年 9 月 21 日に発生した台風 15 号により、農作物及び農業関連施設または農業用機械等に被害を受けた組合員に対し、利子補給による資金対応をしました。	18	43
J A 静岡市台風 15 号緊急支援資金の対応	J A 静岡市	J A 静岡市では、台風で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。	14	26
福島原発放射汚染災害対策資金	J A 静岡市	J A 静岡市では、放射能で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。	12	28
台風 15 号緊急支援資金の対応	J A ハイナン	J A ハイナンでは、台風で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。	6	16
台風 15 号災害対策資金の対応	J A 掛川市	JA 掛川市では、台風 15 号により被害を受けた組合員に対し、掛川市・信連および JA の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。	6	6.3
JA 遠州夢咲災害対策資金 (台風 15 号)	J A 遠州夢咲	9 月 21 日の台風 15 号により被害を受けた組合員に対し、信連、行政の利子補給を受けて資金対応した。	55	133
JA 遠州夢咲災害対策資金 (東日本大震災)	J A 遠州夢咲	3 月 11 日の東日本大震災に起因した原発事故に遭った農業者（管内では間接的被災）に資金対応した。	4	15
J A 遠州中央台風 15 号農業者災害緊急対策資金の対応	J A 遠州中央	J A 遠州中央では台風 15 号により被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。	15	33
台風 15 号災害対策資金の対応	J A とぴあ浜松	当 J A では、台風 15 号により農業用施設に被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応し、経営再建への対応を行った。	19	48
農業近代化資金の台風 15 号対応	J A とぴあ浜松		5	76
スーパー L 資金の台風 15 号対応	J A とぴあ浜松		3	57

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
J A災害対策資金	J A みっかび	東日本大震災による東電原発事故での風評被害を受けた畜産農家に対して農中、信連からの保証料負担、利子助成による無利子資金を創設しました。	8	65
合計			180	576.6
			保証料・利子助成(見込含む) 392件 11百万円	

(2) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク静岡は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校 555 校の小学 5 年生（約 3 万 5 千人）に配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下 J Aでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動内容
JA 伊豆太陽	サツマイモ等栽培体験学習
JA 三島函南	学校給食への地元食材提供、体験活動
JA あいら伊豆	収穫体験、学校給食への食材提供
JA なんすん	農業スクール、茶手揉み体験、稲作体験等
JA 御殿場	食農体験教室（水稻栽培体験等）
JA 富士市	食農体験学習（稲作、芋堀り等）
JA しみず	学校飲み茶提供
JA 掛川市	稲作体験、茶手揉み体験、料理教室等
JA 遠州夢咲	農産物栽培・加工体験、学校給食への茶提供等
JA とびあ浜松	農業体験学習
JA みっかび	農業体験学習、学校へのみかん提供

以 上